

INFORMATION

これからの予定やご案内

『What's the C-BTE』ご覧ください！

「C-BTEって何？」「C-BTEって実際どうなの？」という声にお応えするため『What's the C-BTE?』という動画シリーズをはじめました。

「教会主体の神学教育（C-BTE）」という表現は少しずつは認知されるようになってきていますが、その実態はどういうものなのでしょう。この動画シリーズでは実際にC-BTEに取り組んでいる教会に取材したインタビューを中心に、どのように導入したか、実際の取り組みはどうだったか、どんな成果があったかなどを紹介します。これからも少しずつコンテンツを追加していきます。ぜひご覧になってみてください。



@sbs-channel



1回目は宮城県富谷市のピクトリーチャペル

2023年4月開始の開講講座

SBSの教師陣が様々な講座を開講します。オンライン併用のクラスもあります。ぜひこの春から聖書を学んでみませんか！



オンライン登録が可能になりました！

詳しくはSBSのウェブサイトをご覧ください。
下記QRコードまたは[https://c-bte.jp]へ



教師：栗田義裕先生
「旧約聖書概説Ⅰ」
—序論・五書—

1回
90分×2

神学生・教会リーダー対象
4月13日(木) 9:00～・全6回
¥12,000/オンライン：応相談

どちらも全6回ですが、各回とも2コマ(90分×2)での講座になります。

「説教の準備」

1回
90分×2

神学生・教会リーダー対象
初回4月20日(木) 9:00・全6回
¥12,000/オンライン：応相談



教師：鈴木茂先生
「新しい自立のかたち：境界線」
クリスチャン一般対象

通年

4月下旬・木19:30～・全29回
¥36,000/オンラインのみ
*初回のみ4/15(土) 10:00～2コマ連続

どちらも通年の講座です。途中からの参加も可能です。詳細は案内でご確認ください。

「キリストの内住による心の一新」

クリスチャン一般対象
4月22(土)・土10:00～・全10回
¥36,000
/オンライン併用

通年

1回
90分×3



教師：伊藤一寿先生
「2世紀の教会の戦い」

クリスチャン一般対象
4月11日(火) 9:30～・全12回
¥12,000/オンライン：応相談



教師：高橋清先生
「福音の土台」
—創世記1章～3章の講解—

クリスチャン一般対象
4月7日(金) 10:30～・全6回
¥6,000/オンラインのみ

■講座によってクラスの回数、期間、費用が異なります。■詳しくは受講案内、またはSBSのホームページをご確認ください。
■いずれの講座も事前登録、また基本的に所属教会牧師の承諾が必要です。



宗教学者バプテスト聖書宣教会
仙台バプテスト神学校
C-BTEリソースセンター/C-BTE Japan



WEB SITE



EMAIL



YouTube

発行日：2023年2月12日
発行人：校長 佐々木真輝
編集：仙台バプテスト神学校

〒989-3212 宮城県仙台市青葉区芋沢字花坂上野原40-1 TEL/FAX 022-394-6935 IP 050-3326-9594
WEBサイト：https://c-bte.jp 事務Eメール：sbs.office@c-bte.jp
郵便振替 02290-1-7271「仙台バプテスト神学校」 銀行振込 ゆうちょ銀行 二二九店(当座)0007271



神の奥義としての教会建て上げに仕える牧師・信徒を教会と共に育て励ます・教会主体の神学教育

校報「仙台バプテスト神学校」

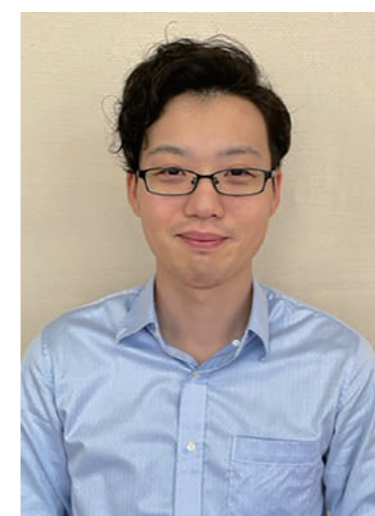
SENDAI BAPTIST SEMINARY / C-BTE RESOURCE CENTER

2023 冬号 vol.61

「教会主体」であることの推薦状

巻頭言

仙台バプテスト神学校 リソースセンター長 辻和希



「私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心に書き記されていて、すべての人に知られ、また読まれています。あなたがたが、私たちの奉仕の結果としてのキリストの手紙であることは、明らかです…」

2コリント3:2,3

仙台バプテスト神学校リソースセンター長に就任した蔵王キリスト教会(山形県、保守バプテスト同盟)の辻和希です。私は自分が育った教会の中でSBSを通してリーダーシップシリーズを用いたトレーニング(アンテオケスクール)を受けてその教会の牧師となりました。「C-BTE=教会主体の神学教育」のパラダイム(考え方の枠組み)の中で訓練され祝福を受けた者として

SBSを通して皆さんにお仕えできていることを感謝しています。

C-BTEは、学問的なものだけではなく聖書本来が語る知恵の追求を大事にしています(これは現在世界中どの神学校や教会教育プログラムにおいても取り組まれている課題であると感じます)。聖書に記された「イエスと使徒たちの手法に基づく教育」により近づくことができるようにという試みの中で、神学教育における様々な枠組みを従来のあり方から大胆に再構築したトレーニングシステムを提示しているため、時折「理念はおおよそ分かるものの、その実態が見えづらい」という声を聞かせていただくことがあり、今後の私たちの大きな課題の一つであると認識しています。

冒頭の聖書箇所のように、主への働きならばそれによって建て上げられた指導者や教会こそがその働きの質(主のみこころにかなっているか、その使命に忠実であるか等)を示す『推薦状』になるはずで。この意味で、私自身がまず何よりも自分の教会における働きとSBSを通して皆さんに奉仕させていただく中で、このパラダイムが実際に神の奥義としての教会を建て上げる働きを力強く押し進めることができることを見ていただくことが必要だと自覚しています。

リソースセンターが今掲げている主要な働きの一つとして「共に取り組む諸教会のネットワーク」があります。私個人だけではなく、このパラダイムによって訓練されたリーダーや教会は確実に起こされてきていますし、また取り組む教会が受けている祝福も多く聞いてます。ぜひ共に力ある教会建て上げを実現していきましょう。それが東北や日本全国の諸教会への励ましにもなると信じています。皆さんのご協力をお願いします。

わたのは 渡波キリスト教会牧師に小澤倫平師就任

東日本大震災の後、宮城県石巻市の渡波（わたのは）地区で支援活動とともに始められた宣教の働きによって「渡波キリスト教会」が誕生しました。昨年8月、同教会の牧師に小澤倫平師が就任されました。小澤先生はこれまで宮城宣教ネットワークの先生方がメンターとなり、C-BTEの取り組みによって学びと訓練を受けておられました。



渡波キリスト教会は、東日本大震災後の災害支援活動の結果誕生した教会です。実は、渡波には震災後誕生した教会が他にも4軒あります。12年前には一軒も教会が無かった町に、今は5か所の教会が礼拝と福音伝道を展開しています。震災を通して、神はまさに奇跡を行われました。

さて、救われる人たちが起こされると、次の課題は教会生活です。信仰と教会が結びつきにくい、という問題に私たちは直面しました。要する

に、「イエス・キリストを信じて終わる」という認識を持っている人たちに、「これからが教会生活の始まりですよ」という概念を、如何に浸透させるかといった課題があります。イエス様を信じて救われて終わりというのではなく、教会という神の家族の一員になったのですよというメッセージを如何に理解してもらうのか。せつかく救われたのに、教会の定着率が低い（勿論私たちの愛の足りなさも原因の一つかも知れません）という問題を解決しなければなりません。

これらの課題の取り組みとして、C-BTEの学びに絶好のソリューションを見出しました。

2017年より教会の顧問牧師となって頂いている大友幸一牧師（塩釜聖書バプテスト教会）からは毎月一回の「バルナバタイム」を通してご指導を

わたのは 渡波キリスト教会とC-BTE 小澤倫平（渡波キリスト教会牧師）

受けています。また、2019年の6月より栗田義裕先生を招いて、渡波でC-BTEの学びが始まりました。C-BTEは、私たちの教会にシステムティックな学びの機会をもたらしました。教会には（牧師夫婦含め）ベテランのクリスチャンは3人います。まずはこの3名がC-BTEを学ぶことによって、今までの信仰生活の中で行ってきたことを理論的におさらいすることが出来ました。クリスチャンとして当たり前のようにしてきたことや、先輩クリスチャンに倣って身に付けた習慣には、それぞれの聖書的な「基本原則」があることを学びました。私たち夫婦は海外で救われて、海外の教会で信仰生活を行ってきました。もう一人の姉妹も、韓国の教会で幼い頃から育ちました。私たちは信仰生活の基本、クリスチャンとしての行いが自然と身に着く環境の中で生きてきましたが、日本（特に東北）で生まれ育った人たちは教会そのものが理解できないものです。教

会は、お寺や神社と全く異なるコンセプトなのです。特に、教会は神の家族であるという基本原則を学んでから、家庭集いに力を入れるようになりました。夫婦・家庭が教会の最小単位となることによって、未信者の家族メンバーが福音に触れる機会が増えました。

今後のチャレンジは、地元で救われた教会員と一緒にC-BTEを学ぶことです。クリスチャンの人生は学びの人生であると思っています。去年から仙台バプテスト神学校で、新約聖書概観Ⅰ・Ⅱのクラスを夫婦で受講しました。今年も受講を続ける予定です。2022年10月30日に牧師就任式が行われ、私は渡波キリスト教会の牧師として就任しました。これからはC-BTEを教会内で拡大していき、地域の諸教会へもアウトリーチしていきたいと思っています。渡波地区の諸教会成長と発展のために是非お祈りください。



今号から校報タイトル部分にSBSのロゴマークがついていることにお気づきになられたでしょうか。以前のマークは保守バプテスト諸教会によく用いられていたものですが最近ほとんど使われなくなっていました。今回、十字架、聖書、世界のモチーフはそのままに、教会が建て上げられ、祝福が広がっていくために仕えていく神学校でありたいという願いをこめて刷新しました。

ご支援に感謝！

SBS校舎の屋根・外壁の修繕と塗装に向けて

お祈りと献金のお願いをさせていただいておりますSBS校舎の屋根、外壁の修繕と塗装工事ですが、必要額450万円がほぼ満たされたことを感謝とともにご報告いたします（全額まであと一歩）。

今後は、2月6日から足場組みの作業が始まり、4月には完了する予定です。ぜひ工事の安全とともに、必要額まであと一歩となった工事費用の満たしと、今後も予想される経年劣化にともなう維持や修繕の必要が満たされますようお祈りください。

BILDとの面談

今後の連携のために
BILD CEO らとのオンライン面談

神学校に置かれている「C-BTE Japan」は、教会主体の神学教育理念に基づく神学教育のためのリソースを提供しているビルド・インターナショナルの日本側窓口です。

去る1月24日（火）、ビルド・インターナショナルCEOのマイケル・ヴォス氏、創設者でアンバサダーのジェフ・リード氏とのオンラインでの面談が行われました。日本からは佐々木校長（兼 C-BTE Japan 代表）、辻リソースセンター長、森谷正志師（前代表・C-BTEメンター）、伊藤一寿師



Zoomでのオンライン面談の様子

（テキスト翻訳）が参加しました。率直な意見交換と親しい交わりが持たれ、対話の中で今後のために大切な示唆をいただきました。またインドや中国をはじめとするアジアでの展開やリソース関連の新たな情報を得ることができました。今後のさらなる協力、連携が期待されます。

秋の新規募集目指して

アンテオケスクールの
新規募集を目指してカリキュラム再編中

引き続き、今年秋からの新規募集を目指して、学習コースの整理とカリキュラムの再編作業がワーキングチームを中心に進められています。

SBSが提供している教育プログラムには、C-BTE理念に基づく牧師・教会指導者育成のための「アンテオケスクール」、開講講座、各種セミナーがありますが、それ以外にも諸教会が取り組んでいる「基本原則シリーズ」を提供しています。

それらを土台に、特に日本の文脈の中で福音宣教と教会建て上げのために有益な科目を加えたカリキュラムと、学習支援、評価システムを、C-BTE理念の

もとに統合されたプログラムとして提供することを目指して学習コースとアンテオケスクールのカリキュラム再編に取り組んでいるところです。新年度はじめには再編された学習コースとカリキュラムを発表できるよう、ぜひチームのためにお祈りください！

学習者のあかし

アンテオケスクールでの学びの恵み

アンテオケスクール生 額田潤（日本基督教団・赤磐教会）



ハレルヤ、主の御名を褒めたたえます。私は岡山県にある赤磐教会に所属している、額田潤です。アンテオケスクールでの学びを始めて二年が経ち、三年目に突入しました。私はアンテオケスクールで学ぶことができている事を神様に感謝しています。なぜならば、アンテオケスクールでの学びが、知識、技能、そして人格を成長させるのにとってもよい学習方法であり、また学習内容だと、学びをする中で感じるからです。

詳しく申し上げますと、常に牧会現場に関わりながら学べる事が大きな恵みだと私は感じています。また学習教材も、知識を頭に入れるだけの教材ではなく、自分が牧会者として立つ時にどうしていくべきかを考えさせられるような内容になっているので、学習していて考えさせられることも大きな恵みだと感じています。

今後も、アンテオケスクールでの学びを通して、知識、技能、そして人格を成長させ、神様の御心をより一層行える人材へと成長していきたいと思っています。